

## 四日市版コミュニティスクール報告書（令和2年度総括）

四日市市立西朝明中学校

校長 廣瀬 琢也

## 1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

昨年度より「四日市版コミュニティスクール」として歩み始め、本年度は2年目となりました。下野・八郷西両地区などの支援のもと、「防災@にしあさけ」の開催や地域行事への積極的な参加を通して、下記のねらいに基づき「地域とともにある学校づくり」を目指して教育活動に取り組んでいます。

- (1) 地域とともにある学校をめざし、地域・保護者とともに協働できる学校にするために協議会を設置し、今日的な教育課題について、学校外からの視点を加えて検討を進めることでより効果的な課題解決を図ります。
- (2) 教育活動を学校評価に起点を置いたものとします。そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させ改善に努めることで、保護者や地域の方々の思いや願いを反映した学校づくりを推進します。
- (3) 学習支援をはじめとして、様々な教育活動に保護者や地域の方々との活動を継続・発展させ、「地域とともにつくる学校」の推進を図ります。
- (4) 様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら、生徒の地域コミュニティづくりへの参画意識を高め、地域に貢献できる人材の育成につなげます。

## 2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

### (1) 教育活動の実践事例

#### <学校参観>

今年度は運営協議会の開催時間を夜から昼間の開催に変更しました。実際の生徒の活動の様子をみていただきながら、本校の教育活動にご理解をいただくとともに、課題等についてご意見をお聞きしました。9月には、タブレット型パソコンを使った1年生の英語の授業を参観いただいた後、今後のICTを活用した授業について、「タブレットはあくまでもツールである」「授業の中でどのように活用していくかが重要」などご意見をいただきました。



#### <地域行事や活動への参加>

「コロナ禍の中、まずはできることから始めよう」と運営協議会や地区市民センター様のご協力のもと、生徒が地域のみなさんと一緒に活動する貴重な機会を得ました。



【里山整備ボランティア】

に作業をさせていただきました。この貴重な経験は、後日生徒集会でも全校生徒に報告されました。

12月6日(日)には、各地区の地域清掃活動(下野地区「朝明川クリーン作戦」と八郷西地区「クリーンアップ八郷」)に生徒会と有志、部活動単位で参加しました。地域の方からは生徒の一生懸命に活動する姿にお褒めのお言葉をたくさんいただきました。

また、今年度は行事の参加だけではなく、通学路になっている朝明川堤防道路へのサイン看板のデザインを提供したり、地域の啓発活動に協力したりしました。

【オンラインでの標語募集の呼びかけ】



1月13日(水)5限目には、下野人権を考える会及び青少年健全育成委員会の各会長様から「人権標語・人権川柳」と「青少年健全育成標語」の募集について、校長室からタブレットを使ったオンライン配信で各教室の生徒に説明いただきました。私たちが住みやすいまちとなるよう、様々な活動を進めてくださる方の顔が直接見えたことで生徒も積極的に標語づくりに取り組んでいました。選ばれた作品は地域で看板として掲げられる予定です。

<2年生職業講話の地域人材発掘>

10月に6つの職種(美容師、萬古焼製造、スポーツ選手、添乗員、介護士、しいたけ栽培)の7名の方々を講師にお招きし、ご自身が携わっている仕事に関して、経験や考え方などについてお話を伺いました。質疑応答を含めて40分間と短い時間でしたが、メモをとりながら一生懸命聞き入る生徒の姿が見られました。講師の選定にあたっては、運営協議会からも人材を紹介いただき、地元密着型のお話が聞けたことは生徒にとって親近感がわくものでした。また、新たな地域人材の発掘により、今後の教育活動の幅が広がります。



【2年生「ザ・プロフェッショナル」】

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

- ・ コロナ禍により、「防災@にしあさけ」をはじめとする地域と連携した教育活動、保護者・地域への学校公開など、当初の計画のほとんどが実施できませんでした。しかし、新たな取り組みとして、標語などの啓発活動や地域の看板デザインなどに参加する機会を得たこと、そして、ICTを活用して地域の方の想いに触れることができたことは大きな成果です。
- ・ 運営協議会での協議から、地域内のゲストティチャーや地域づくりの活動に関わることができる場を紹介いただいたことで、生徒が地域を身近に感じる機会、地域貢献・社会参画につながる機会を得ることができました。
- ・ 学校自己評価書の「四日市版コミュニティスクールにおける活動を通し、学校・家庭・地域が協働した学校づくりを推進することができた。」にかかる教職員自己評価 3.5（昨年度 3.0）となり、地域と協働した学校教育活動への意識も向上しました。

### 3 今後に向けて

(1) 生徒の現状から

- ・ 本校の最重要課題である不登校生徒対策では、不登校生徒の学力保障についても引き続ききめ細やかに対応するとともに、関係機関や地域の民生委員等との連携も密にしながら対応する必要があります。
- ・ 地域行事に生徒が参加し、地域の方と交流できる活動は、生徒の自己有用感を高める意義あるものと考えています。よって、生徒が機会を見つけてボランティア活動に参加し、地域社会とつながれるような場を提供いただけるよう、学校から地域への働きかけを積極的に行いたいと考えています。
- ・ 生徒の地域内でのあいさつの意識が低下しているとの指摘を受けたことから、普段の学校生活の中で場面に応じた言葉遣いや振る舞いに気を付けていく指導を継続して行う必要があります。

(2) 地域とともにある学校づくりの推進から

- ・ 運営協議会を中核として、「防災@にしあさけ」や生徒会・有志や部活動単位での地域行事の参加を復活させるとともに、地域人材の活用を一層進めることで生徒の地域社会への参画意識を高めたいと考えています。また、次年度も学校行事等におけるPTAの支援も受けながら、学校・家庭・地域が協働した学校づくりを進めます。
- ・ 本校の特色ある取り組み「防災@にしあさけ」では、他団体とも連携し「社会の一員として」「防災の担い手として」活躍できる中学生の存在が注目されています。地域防災訓練などを通して、地域に貢献できる人材を育成するだけでなく、地域とのつながりを大切にした教育活動を実践し、社会に開かれた学校を目指していきます。

## 別紙B

## 令和2年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立西朝明中学校

委員長 野呂 親信

校長 廣瀬 琢也

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5		
6	第1回運営協議会 (17日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱状交付</li> <li>・学校の現状 (学校の様子)</li> <li>・学校づくりビジョンについて等</li> </ul>
7		
8		
9	体育祭 (24日) 第2回運営協議会 (30日)	体育祭参観 <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参観 (タブレット活用)</li> <li>・学校の現状 (体育祭の様子、外部人材の活用、今後の部活動など)</li> </ul>
10	文化祭 (30日)	文化祭参観
11	第3回運営協議会 (19日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の現状 (文化祭の様子等)</li> <li>・「学校自己評価アンケート」と学校指定物品の取り扱いなど</li> </ul>
12		
1		
2	第4回運営協議会 (17日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の学校教育活動の成果と課題</li> <li>・学校自己評価集計結果などを基にした学校関係者評価と次年度に向けて</li> </ul>
3	卒業式 (8日)	卒業式の参列